

みずほCustomer Desk Report 2023/09/07号(As of 2023/09/06)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.85
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	147.47	1.0725	158.22	1.2566	0.6375
SYD-NY High	147.82	1.0749	158.44	1.2587	0.6405
SYD-NY Low	147.02	1.0703	157.81	1.2484	0.6359
NY 5:00 PM	147.71	1.0727	158.40	1.2507	0.6383

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,443.19	▲ 198.78	日本2年債	0.0100%	0.0000%
NASDAQ	13,872.47	▲ 148.48	日本10年債	0.6500%	0.0000%
S&P	4,465.48	▲ 31.35	米国2年債	5.0277%	0.0690%
日経平均	33,241.02	204.26	米国5年債	4.4392%	0.0635%
TOPIX	2,392.53	14.68	米国10年債	4.2936%	0.0289%
シカゴ日経先物	33,120.00	10.00	独10年債	2.6565%	0.0495%
ロンドンFT	7,426.14	▲ 11.79	英10年債	4.5285%	0.0110%
DAX	15,741.37	▲ 30.34	豪10年債	4.1510%	0.0150%
ハンセン指数	18,449.98	▲ 6.93	USDJPY 1M Vol	9.19%	0.03%
上海総合	3,158.08	3.71	USDJPY 3M Vol	9.15%	0.12%
NY金	1,944.20	▲ 8.40	USDJPY 6M Vol	9.10%	0.05%
WTI	87.54	0.85	USDJPY 1M 25RR	▲0.80%	Yen Call Over
CRB指数	284.74	▲ 0.19	EURJPY 3M Vol	9.26%	0.04%
ドルインデックス	104.86	0.05	EURJPY 6M Vol	9.45%	▲0.01%

東京	朝方は神田財務官の円安牽制発言にドル円は20銭ほど値を下げ147.47レベルで東京時間オープン。仲値にかけドル買い優勢となると、147.82まで上昇し年初来高値を僅かに更新。上昇一服後は147円台半ばで推移。その後は米金利低下に147.02まで下押しすると結局147.11レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.11レベルでオープン。アジア時間の円高から反発する展開も上値は限定的。147.37レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0739レベルでオープン。ECB高官の「市場は9月利上げ見込みを過小評価している可能性」とのコメントに1.0749まで上昇するも動意薄。1.0744でNYに渡った。なお本日ポーランド中銀の会合があり、0.75%ポイントの利下げを決定。市場予想は0.25%ポイントの利下げだったため、スロワキは大きく売られた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。東京時間では、神田財務官の「急激な為替変動が続いた場合はあらゆる選択肢を排除せず、適切に対応する」との発言を受けて為替介入の警戒感が高まり147.37まで下落。しかし、円安牽制発言に反応した売りは長続きせず、東京仲値にかけて147.82まで戻し、年初来高値を更新。その後米金利が低下する展開に伴い、147.02まで反落。売り一巡後は147.30付近まで反発し、147.37レベルでNYオープン。朝方は147.14まで値を下げる場面もあったが、続いて発表された米8月ISM非製造業景況指数が予想より良好な内容となり、仕入価格と雇用の部分でも予想を上回った結果が買い材料となり、147.74まで反発する。午後も底堅い推移が続き、高値圏の147.60付近での小動きで、結局147.71レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。1.0720付近を挟んだ推移が続き、その後独7月製造業受注が予想より悪化するも、市場の反応は限定的。続いてオランダ中銀総裁が「市場は9月利上げの可能性を過小評価しているかもしれない」との認識を示し、買いが優勢となり、1.0748まで値を上げる。その後1.07台半ばを軸とした推移が続き、1.0744レベルでNYオープン。午前中は先述の強い米8月ISM非製造業景況指数の内容に上値を抑えられ、1.0703まで下落する。午後は下げ渋り、1.0720近辺でもみ合いとなり、1.0727レベルでクローズ。

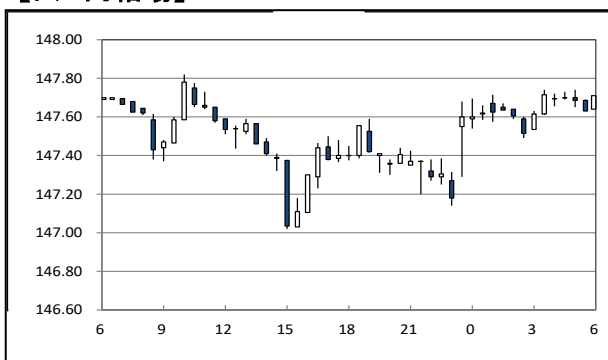
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月6日	10:30	豪 GDP(前年比)	2Q 2.1%	1.8%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	7月 -0.2%	-0.2%
	21:30	米 貿易収支	7月 -\$65.0b	-\$68.0b
	22:45	米 サービス業PMI・確報	8月 50.5	51
	22:45	米 コンポジットPMI・確報	8月 50.2	50.4
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	8月 54.5	52.5
9月7日	03:00	米 ベージュブック	大半の地区で経済成長は緩慢、物価上昇が総じて減速	

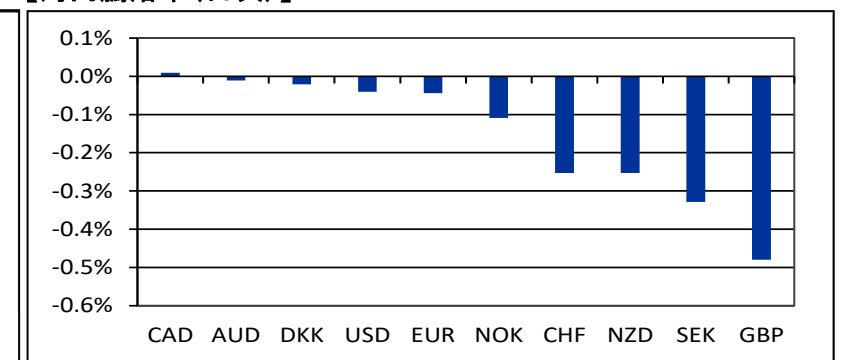
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月7日	10:30	豪 貿易収支	7月 A\$10000m	A\$11321m
	14:00	日 景気一致指数・速報	7月 114.2	115.1
	18:00	欧 GDP(前期比)・確報	2Q 0.3%	0.3%
	18:00	欧 GDP(前年比)・確報	2Q 0.6%	0.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	2-Sep 234k	228k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-148.50	1.0650-1.0800	157.50-159.00

【マーケットインプレッション】

昨日は神田財務官から足元の為替相場について「投機的な行動あるいはファンダメンタルズでは説明できないような動きがみられる」とのけん制があり、ドル円は調整する場面が見られたが、堅調な米・8月ISM非製造業景況指数の結果等もあり底堅い動きが継続した。本日のドル/円は堅調な推移を予想。9月のFOMCを前に引き続き利上げ期待からドル高地合いが継続しよう。ただし昨日の米国経済指標を振り返るとISM非製造業景況指数こそ強い内容となった一方、8月サービス業PMI(確報)は予想を下回ったほか、ベージュブックでは「大半の地区の調査先が、経済成長は緩慢だったと指摘した」と記されるなど、依然今後の景気後退懸念が残る内容。国内当局による介入への警戒もあり上値を追う動きも限られよう。本日は、NY時間にウィリアムズNY連銀総裁の講演が予定される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・逸見